

山田みやこの活動報告

令和3年5月24日・25日(月・火)

栃木県知事・教育長に対し「生理の貧困」に関する緊急要望書を提出しました

栃木県地方議会女性議員連盟は福田 富一知事、荒川 正利教育長に「生理の貧困」に関する緊急要望書を提出しました。



令和3年5月24日

栃木県知事 福田富一様

栃木県地方議会女性議員連盟
会長 山田 美也子

「生理の貧困」に関する緊急要望

コロナ禍のなか、今までに見過ごされてきた課題が明らかになって来ております。その一つに経済的困窮から生理用品を買うことができない「生理の貧困」を訴える声が女性の間で広がっています。民間団体が女子高校生以上の学生を対象にオンラインで実施したアンケートでは、過去1年間に金銭的な理由で入手に苦労した人は20%、節約のために交換頻度を減らしたという人は37%との回答結果でした。これは、コロナ禍で突然生じた事ではなく、これまで経済的理由から生理用品が買えないという問題が放置されてきたこと、また、その背景には、ネグレクトや虐待などで親に頼れず、生理用品がほしいと親に言えない等社会的課題の家庭もあります。

また、生理を原因とした体調不良を我慢する、生理期間中に学校を休む、早退、遅刻など学校生活に支障があったという回答が半数近く上がっています。体だけでなく心の健康を害することにつながりかねません。このような実態がタブー視され見過ごされてきたことも事実であり、女性の性と健康、尊厳や権利を守る上であってはならないことです。

施策の必要性を踏まえ、次の通り要望いたします。

1. 経済的困窮をはじめ様々な理由で生理用品を買えない方への無償配布
2. 県立学校をはじめ県内すべての学校のトイレに生理用品を常備
3. 公共施設のトイレに生理用品を常備

必要な人が必要な時に生理用品が手に届くよう対策を速やかに講じることを要望いたします。

以上